

2026年新年メッセージ

去年今年 貫く棒や シノダリティ

大阪高松大司教区大司教 前田万葉枢機卿

皆様、主のご誕生日
新年おめでとうございま

「シノダリティ」と詠み、クリスマスと新年のご挨拶を申し上げます。2025年聖年を締めくくり、新たな四半世紀を始めるため、「シノダリティ」というキー・ポイントを繋ぎにいたしましょう。「去年今年貫く棒の『ごときもの』」と、句がありますが、その貫く棒が「シノダリティ」ということにいたしましょう。

ホップ・ステップ・ジ
ンプで段階的に

2028年10月からは完全段階（ジャンプ）行動を完成させる」といたしましょう。「第1段階ホップ」の最終文書について、後述の高山徹（あやまつ）神父による提言を参考にし、「第2段階ステップ」については、酒井俊弘（さかいとしや）、補佐司教の提言を参考にしてください。

くつかの活動

①教宣教司牧評議会は、年2回の会議を「シノドスと靈における会話」研修に取り組んできました。

②新福音化委員会と信徒使徒職委員会は協賛もかね取り組んできました。

③ 聖年・万博委員会では、活動の目に見えるしとして、「平和の鐘設置とオリーブの木植樹」、「コンサート実施」などに尽力してきました。

思います。シノドス的教会を歩むため、「枢機卿たちによる靈における会話」の中からの「識別」を目指すのではないかと思します。

シノドスのモットーである「交わり・参加・宣教」を推進するためには、「聴く・祈る（聖靈に照らされ）・識別する」ことが必要である。

さらには、教会の中など
どまらず、隣近所や地域、
自治会や地域の施設などの
人たちの声を聞くことも大
切です。教会の外からどの
よう見られているのかを

終文書』や教皇フランシスコの連続講話をまとめた『識別』(ペトロ文庫)を読んだりすることができるでしょう。



臨時枢機卿総会招集
者委員会」新設などを企画
しています。

て、5月8日突然の就任以来、あわただしい聖年でもあつた関係上、2026年1月6日聖年閉年を機に、1月7日と8日の臨時枢機卿総会招集をして心機一転、新たな年を始めたいのだと

十六回シノドス総会第二会期において承認されたものです。そして、教皇文書としての権威を付与され、今後この文書を各現場で受け取る中で調整することを勧めています。内容は五部構成で、『回心』がキーワードになります。これから『全教会は、聖靈に照らされつつ、交わりを生き、参加を実現し、イエス・キリストから託された宣教を推進するためには踏み出すべき行程を識別する』のです。

イントです。言い始めれば、「よりシノドス的な教会になる」ために、「聴く・祈る・識別する」教会となるのが目標です。日本教会はこれまでの歩みによつてすでにかなりシノドス的な教会であると言えますが、2026年は「よりシノドス的な教会」になる歩みを努めましょう。

面 4面 面

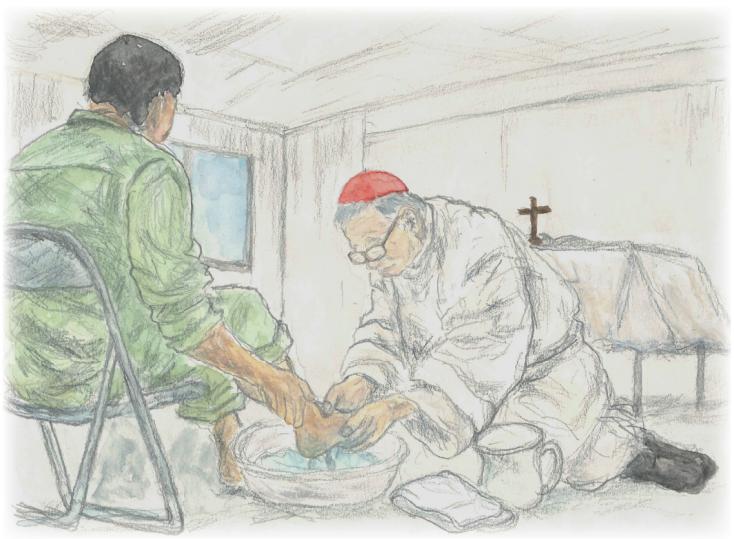
QRコード読み取り▼▼▼

教皇フランシスコ連続講話集
識別 — 教皇講話集
教皇フランシスコ

QRコード



受刑者とともに捧げる 聖年のミサ



聖年に当たり、受刑者のためにミサをささげようと、日本カトリック教説師連盟会長荻喜代治（広島教区）が企画し、大阪刑務所（大阪府堺市）の協力を得て、前田万葉枢機卿を招いて「受刑者とともに捧げる聖年のミサ」がささげられた。

キリストの愛を洗足で —大阪刑務所にて

講演後は高山徹神父の指導で「靈における会話」を実践し、沈黙の中で聖靈の声を聞く工夫は示唆に満ちたものだった。最後に両枢機卿から祝福を受け研修会は終了した。

今日は使徒職養成委員会と新福音化委員会共催でユーチューブ中継やズーム参加など新たな試みも行われた。

（文 使徒職養成委員会）



堅信の恵みを受けた受堅者と共同体の喜び

受堅者からは「今まで指導していただき感謝しています」、「うれしいです」という句が、会場に深く響いた。



枢機卿からの聖靈のしるし



大聖堂
外観

◆おすすめの店（場所）
玉造教会から東へ5分ほどで
Qsモールがあり、お食事やお茶
が楽しめます。そこから少し足
をのばせば大阪城。時期によつ
ては散策しながら梅や桜、桜の
お花見もおすすめです。

使徒職養成委員会

2025シノドス研修会開催される



シノドスの精神を分かち合う学びの集い

11月8日午後、サクラファミリアに菊地功枢機卿を迎えてシノドス研修会が開催され、信徒・司祭・修道者約100人が参加した。開会に先立ち、前田万葉枢機卿は「日本におけるシノドス牽引の総帥である菊地枢機卿にご指導いただき、小教区の隅々にまでシノドスの輪が広がることを期待する」と挨拶された。

菊地枢機卿はフランシスコ教皇の言葉を引用し、シノドス性は現代における神が望まれる教会の道であり、聖靈の声に共に耳を傾け識別する動きだと述べ、教皇が「枢機卿たちの意見ではなく、聖靈の声を聞きたい」と語り、司祭、信徒を含む全員の意見に耳を傾けた。

シノドス関連学習会

けたことを強調した。

2028年の教会総会への道程を定め、シノドス最終文書に著者として名を連ねられた教皇にとって最終

一度は読むこと、「靈における会話」を繰り返し実践することの重要性を述べられた。

11月16日、大阪高松聖マリア大聖堂にて玉造プロック主催の堅信式が行われ、玉造・生野両教会の9人が堅信の恵みにあづかつた。前田万葉枢機卿の司式のもと、約300人の共同体が受堅者を支え、共に喜びを分かち合つた。

玉造教会・生野教会 合同堅信式

平和に生きる力を受けて

堅信の恵みを受けた受堅者と共同体の喜び

（文 玉造教会信徒 横山文代）

初めての朗読や奉納を担当した受堅者たちの真剣な姿、そして祝賀会での笑顔に、喜びがあふれていた。玉造・生野両教会が、互いに仕えあう喜びをこれからも歩みの中で証しできますように。

という声が聞かれた。

玉造・生野両教会が、互いに仕えあう喜びをこれからも歩みの中で証しできますように。

（文 玉造教会信徒 横山文代）

玉造教会は、1894年に聖アグネス聖堂の建立とともに誕生しました。戦災で焼失後、仮聖堂を経て、1963年に現在の聖マリア大聖堂として再建されました。堂内には堂本印象の壁画や羽淵紅州作のステンドグラス、ルンガルチエ氏の木彫像が配され、広場には高山右近と細川ガラシアの像が立つ、歴史と芸術が息づく教会です。

◆教会紹介（玉造）
◆守護：無原罪の聖マリア
◆住所：大阪市中央区玉造2-1-24-1
◆設立年月日：1894年
◆信徒数：1462人
◆ホームページ
▼▼▼



11月18日から20日にかけて、広島教区において第27回日韓司教交流会が開催された。韓国から17名、日本から16名の司教が参加し、テマに沿って共に学びを深めた。また、2027年に開催されるワールドユースデー・ソウル大会に向けた進捗状況についても情報を共有した。

祈りと開会、両国司教の自己紹介の後、「日韓カトリック教会の架け橋としての朝鮮学校、在日の人びとの痛みに寄り添うことで見えてくること」が講師の中井淳神父（イエズス会）より話された。アジアの平和のための日韓の教会の役割についても意見交換がなされた。

2日目は李昇勲（イ・スンヒン）さんを講師に招き「外国人の目から見た原爆資料館」と題しての講話。その後、観音町教會でミサがおこなわれた。主司式と説教をしたイ・ムンヒ大司教は、「異なる歴史と文化、過去の痛みの傷の中にあっても、私たちはどまらず、一緒に航海を続ければならない。私たちは安全な港に停泊している間に体験する『平和』が必要である。これから先も絶え間ない祈りと交流、実践と分かち合いを通して進んでいくための勇気を与えてくれる『平和』が必要である。これから先も絶え間ない祈りと交流、実践と分かち合いを通して進んでいくための勇気を与えてくれる『平和』が必要である。また、2027年にソウルで開催されるワールドユースデーでは、キリスト教的価値と平和の精神を学び、韓国と日本の青年たち

が一堂に会し、聖靈の中で共に祈り、平和を体験できるよう、両国の司教は共に力を尽くさなければならぬ」と述べた。

午後からは平和記念公園へ。韓国人被爆者の慰靈碑を前に献花をし、祈りを捧げた。

韓国人被爆者の慰靈碑に献花する前田万葉枢機卿

（説教カトリック中央協議会ホームページより引用）

レオ14世は教皇選出直後『皆さん、どうか手を貸してください。対話をもって、出会いを通して互いに橋を架けましょう。皆が一致して、いつも平和なただ一つの道を歩んで行くための希望の架け橋となることができるように、神の導きと豊かな祝福を祈りたい』と

11月18日から20日にかけて、広島教区において第27回日韓司教交流会が開催された。韓国から17名、日本から16名の司教が参加し、テマに沿って共に学びを深めた。また、2027年に開催されるワールドユースデー・ソウル大会に向けた進捗状況についても情報を共有した。

2025年 第27回日韓司教交流会 in 広島
—若い世代に平和をつなぐために—

島には約14万人もの朝鮮半島出身の人びとが暮らしていたが、その多くが強制労働のために動員されれた。そして80年前の8月6日に広島に原爆が投下された影響で7万人以上が亡くなり、原爆による犠牲者の約20パーセントは、朝鮮半島出身の方がたであり、植民地支配と戦争が多大な損害と苦痛を与えてしまった。

11月10日、前田万葉枢機卿司式のもと、大阪高松カトリック聖マリア大聖堂において、道頓堀開削者の慰靈祭を執り行つた。枢機卿司式ミサに続き、神道・仏教のそれぞれの祈りがささげられた。

開催に至った経緯は、次のとおりである。

現在の大坂ミナミ一帯は、江戸時代以前には荒れ地であり、大阪夏の陣以降に町並みの整備が開始された。道頓堀および千日前の地域は、大阪城南側を守る砦として市中最大の墓地が設けられ、さらに豊臣方の残党や棄教しないキリストンの処刑場としても利用されていた。

また、道頓堀の開削にはキリストンを労役に従事させ、リシタンを労役に従事させ、棄教を迫る意図もあつたとされている。

タシの方がたへミサをささげたいとの願いが強くなつた。このため前田万葉大司教が赴任された際に拝謁し、道頓堀の歴史的背景を伝えたところ、慰靈ミサを行う運びとなつた。



また、この取り組みが新聞に取り上げられたことを契機として、漫画家・美内すずえさんが協賛者となり、道頓堀開削400年に当たる2015年、神道・仏教・キリスト教による合同慰靈祭を挙行することができた。以来、毎年11月に慰靈行事を継続し、本年は10年目に当たるため、大阪高松カトリック聖マリア大聖堂において追悼のミサをささげたものである。

これらの史実を知るに及び、従来の仏教・神道による鎮魂ではなお十分に応えられないといふ思いが私の中に生じたこと、加えて私の先祖がキリストンであつたことが判明したことから、道頓堀に沈んだキリスト

（文 弘昌寺住職
鳥居弘昌）

ひとりで悩まないで～私たちに聴かせてください～
カトリック大阪高松大司教区
ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号: 06-6941-9718

相談窓口受付時間
月・火・金曜日（祝日を除く）
午前10時～午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は必ず守られます。

株式会社 ガラシア WINGS
サービス付き高齢者住宅
ドムス ガラシア

入居者を募集しております。
また、看護師、介護職員を募集しております。皆様ご協力を
お願い申し上げます。

☎ 06-4960-8020
✉ info@gratia-wings.jp
担当 奥本、濱口

大阪コレギウム・ムジクム 創立50周年記念特別演奏会

11月15日、「祈り、そして希望へ」をテーマに大阪高松カトリック聖マリア大聖堂で、指揮者の當間修一さん率いるシンフォニア・コレギウム OSAKA の管合奏、大阪ハインリッヒ・シュツツ室内合唱団、大阪コレギウム・ムジクム合唱団の演奏会が行われた。参列者は約200人。

大阪コレギウム・ムジクムは1975年、當間修一さんによって創設され、世界でも類をみないオーケストラ、合唱団として国内外で高評価を得、各地で活発に活動を続ける中、今年50周年を迎えた。聖年である記念すべきこの年にカトリックで開催されたことは教会としても喜ばしい。開演前、聖年のテーマソング「希望の巡礼者」が合唱された。

前半はブルックナー作曲によるアヴェ・マリア、ミサ曲第2番ホ短調 Kyrie、Gloria、Credo、Sanctus、Benedictus、Agnus Dei を演奏、合唱。



第一部での演奏と合唱の様子

休憩を挟んで、後半は「天正遣欧少年使節」の4人の若者をイメージし作曲家の千原英喜さんが作曲された、無伴奏混声合唱のための「ミサ“アントロ・ラガツツイ”」旅の日の天正遣欧少年使節がスクリーンにイメージ動画が流れる中、少年たちの心は希望に満ち溢れローマへ向けて出航し、日本から来た4人は温かく迎え入れられ、神をほめたたえる様子がキリスト教とグロリアで歌われた。しかし、日本に帰国した時には、時代が変遷し、キリスト教禁教令が発令されており、千々とミゲルを除く3人は捕らえられ、処刑される結末を迎える。その悲壮な最期を遂げた少年たちをクレドとサンクトゥスで見事に表現されていた。

最後のアヌスデイは、苦しみから解放され、主のみもとで憩う姿を彷彿させる平和な世界が広がっていた。これは現代社会で生きる私たちへの平和を願うメッセージのように受け取れた。日本の懐かしい風景を想起するような音階とグレゴリオ聖歌の旋律が融合された個性的な音色が聖堂に響き渡り、祈りに包まれるようであった。

（文 広報委員会）



10 ottobre 2025

Nel tardo pomeriggio di ieri, giovedì 9 ottobre, il cardinale verbita Tarcisio Kasuga, arcivescovo metropolita di Tokyo e presidente di Caritas Internationalis, ha preso possesso del nuovo titolo di San Giovanni Lenardi, nel giorno della memoria liturgica del fondatore dei chierici regolari della Madre di Dio, ai quali è affidata la comunità parrocchiale.

Il porto giapponese è giunto intorno alle 18 nella chiesa romana di via della Crocetta n. 2, nel quartiere di Torre Maura. Qui è stato accolto dal parroco, il leonardino italiano padre Antony Samy Taron, che gli ha presentato il crocifisso per il bacio e la venerazione. Successivamente, il cardinale Kasuga ha presieduto la Messa.

Tra i concelebranti il cardinale Thomas Aquino Mano Maeda, arcivescovo di Osaka, gli arcivescovi Peter Michiaki Nakamura (Nagasaki) e Davide Carlo Pellegrini - Marco Lucano e Francesco Nuovo, i vescovi Francis Xavier Hiraiwa Nakano e Giacomo Andrea Lembo (auxiliare di Tokyo), membri della comunità Leonardina, guidati dal rettore generale padre Luigi Picenio, e padre Anselmo Ricardo Ribeiro, superiore generale della Società del Verbo Divino, con alcuni confratelli.

Eran presenti sacerdoti e pellegrini giapponesi insieme con l'ambasciatore del Giappone presso la Santa Sede, Akira Chiba, e il dottor Alastair Dutton, segretario generale di Caritas Internationalis.

Ha diretto il rito monsignor Massimiliano Matteo Boiardi, cerimoniere pontificio, che ha letto la bolla di nomina.

菊地功枢機卿
名義教会着座式と記念ミサ
聖ジョヴァンニ・レオナルディ教会

10 ottobre 2025

10月9日午後遅く、東京大司教であり国際カリタス会長でもある菊地功枢機卿は、教区共同体が託されている聖母修道会創立者の典礼上の記念日に、聖ジョヴァンニ・レオナルディという新しい称号を授けられた。

菊地枢機卿は、トッレ・マウラ地区のチコニニヤ通り2番地にあるローマ教会に到着した。教区司祭であるインド・レオナルディ会のアントニー・サミー・エスロン神父の歓迎を受け、十字架が贈られ、接吻と崇敬を受けた。その後、菊地枢機卿がミサを司式した。

共同司式者には、前田万葉枢機卿、中村倫明大司教（長崎）とダヴィデ・カルボナロ大司教（ボテンツア・ムロ・ルカーノ）マルシコ・ヌオーヴォ、中野裕明司教（鹿児島）とアンドレ・レンボ補佐司教（東京）、そしてルイジ・ピッコロ神父（レオナルディノ修道会）が司式し、任命勅書を読み上げた。

菊地功枢機卿
名義教会着座式と記念ミサ
聖ジョヴァンニ・レオナルディ教会



菊地枢機卿名義教会での着座式野外ミサ



2025年聖年 『希望の巡礼者』司教団公式巡礼

司教団の公式巡礼「Bコース、アツシジ・ローマ八日間」は、前田万葉枢機卿を団長とし、大司教秘書のパオロ・スツッキ神父（聖ザベリオ宣教会）を副団長として、10月4日～11日までの日程で行われた。

参加者は、北海道から鹿児島までの34人が参加した。行程は、10月5日にローマでバジリカの一つ、サンタ・マリア・マッジョーレ教会でフランシスコ教皇の墓を訪問し、アツシジ巡礼に向かつた。

アツシジ巡礼の後、7日にローマに戻つて二つ目のバジリカ、聖パオロ大聖堂

に訪問し、アツシジ巡礼に向かつた。夕食会はレストランに日本からの三つの巡礼団（菊地枢機卿団長班、中村倫明大司教団長班）が集まつた。9日にはかつての教皇座聖堂である四つ目のバジリカ、ラテラノ教会を訪問し、バチカン美術館に向かつた。夕方は、巡礼の目的の一つでもある、菊地枢機卿のローマでの名義教会である聖ジョヴァンニ・レオナルディ教会で、他の二つの巡礼団と合流して着座式に参加した。

帰国前に非公式行事として、前田枢機卿の名義教会である聖ブデンツィアナ（Basilica Santa Pudenziana）において早朝ミサがささげられた。前田枢機卿は、この日の典礼にあたり、「十月や主の日暗黒救いの日」、スヤの二句を詠み、巡礼の恵みと教会の歩みを感謝して結ばれた。



前田枢機卿の紋章が掲げられた聖堂前での巡礼団

（文 八幡浜教会 清水裕子）

ブラザーヒト歩こう★巡礼ウォーク



巡礼指定教会の大東教会に訪問

聖年にあたり、大阪梅田教会を起点に、初めて企画された巡礼ウォーク。3月から、歌とロザリオの祈りを胸に歩いて巡る教会巡礼は、延べ8回にわたり続けられた。

皆さん、聖年をどのように過ごされましたか？大阪高松教区の巡礼指定教会は19を数えます。これは日本の教区の中でも多いのではないかと思います。わたしの所属する大阪梅田教会20km圏内に6つ（高槻、大東、玉造、堺、尻川、芦屋）もあります。そこでせっかくの機会ですから巡礼指定教会を歩いて「巡礼しましょう」と呼びかけました。3月11日、第1回の梅田～大東をスタート、「希望の巡礼者」を歌い、ロザリオの祈りを唱えながら、12月2日第8回高槻～大東まで9つの巡礼指定教会と途中にある15の教会を巡ることができました。参加者は平均10人、最高齢は80歳、距離は長いところで24kmを超ましたが、無事に歩くことができました。

聖年は終わりますが、今までさと車で行っていた自分の教会に歩いて行ってみてはいかがでしょう？長い距離を歩かなくても良いと思います。家を出た時から教会までの道、これも一つの巡礼です。是非歩いてみることをお勧めいたします。

（文 聖パウロ修道会 Br 阿部光一）

1966年に司祭叙階。日本に派遣が決まり、1970年に来日後、日本語（東京）を学び、大阪教区の（旧）桜ノ宮教会をはじめ各地で小教区司牧に献身した。高松教区の坂出、桜町、善通寺、丸亀など、多くの小教区で主任、助任司祭として務めた。特に献血活動に励み、地域から感謝状を受けるほどであった。1979年にパンプローナ教区（スペイン）所属となり、同僚司祭からは「謙虚で喜んで奉仕する善良な人物」と評された。2022年に帰国後はパンプローナ神学校の司祭館で穏やかに過ごした。

Sr マリアナタリア関口綾子（大

1955年初詣願後、少女の聖心女子大学英文科を卒業して英語教師をしたのち1948年4月西宮聖クララ会に入会。性格が朗らかで何事にも積極的であり、長年、修道院長を務め、から靈母として結ばれた。

2014年7月仁豊野ヴィラに入所して、これまで肺炎等により100歳の誕生日は無理だろうと言っていたものの100歳を迎えることができました。お茶目な仕事で私たちを和ましください、シスターは仁豊野ヴィラのアイドル的存在となり希望でした。

ともに祈り、ともに働き、ともに学び、ともに憩い、ともに十字架のイエスを見つめながら主に招かれた奉獻生活を喜びのうちに過ごした。

創立者の精神である、まことに神との出会いのよろこびを伝えることから、まだ神を知らない方々に、晩年でも入門講座をして洗礼に導くことを喜びとし



デシデリオ・カンバラ・アロニス神父（スペイン外國宣教会）は、11月19日、脳溢血により帰天。85歳。スペインナバラ州出身。



Sr.志鎌敏子（西宮聖クララ会）は、11月9日、仁豊野ヴィラで老衰のため帰天。99歳。東京都出身。



阪聖ヨゼフ宣教修道女会は、11月13日、ガラシア病院で老衰のため帰天。99歳。東京都出身。

2026年度 大阪高松教区 年間予定

— 2025年11月30日現在 —

緑……典礼歴(祝祭日)

赤……祈願日など

黒……教区行事・その他

※予定は変更になる場合があります。

1月		
1 木	神の母聖マリア 世界平和の日	
4 日	主の公現	
6 火	(教区本部事務局 2026年始業)	
11 日	主の洗礼	
14 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会	
15 木	〔常任司教委員会〕	
17 土	教区新生の日(1・17) 11時 教区宣教司牧評議会	
18 日	キリスト教一致祈祷週間(～25日迄)	
25 日	神のことばの主日 世界こども助け合いの日(献金)	
26 月	修養会(～30日迄)	
28 水	聖トマス・アクイナス司祭教会博士 トマス・アクイナス 前田万葉大司教靈名	

2月		
2 月	主の奉獻	
3 火	福者ユスト高山右近殉教者	
4 水	10時半 顧問会・責任役員会	
5 木	日本26聖人殉教者 〔常任司教委員会〕	
7 土	ユスト高山右近 列聖を祈る集い	
8 日	新教会建設献金の日(献金)	
11 水	世界病者の日	
16 月	〔臨時司教総会〕(～20日迄)	
18 水	灰の水曜日(大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節中)	
25 水	10時半 司牧者のための祈りと ゆるしの秘跡のつどい	

3月		
5 木	〔常任司教委員会〕	
6 金	性虐待被害者のための祈りと償いの日	
19 木	聖ヨセフ	
20 金	教区召命の日	
21 土	大阪高松教区司教座聖堂献堂(玉造)	
25 水	神のお告げ 10時半 顧問会・責任役員会(予算)	
29 日	受難の主日(枝の主日)	
31 火	教区会計年度末	



4月		
1 水	11時 聖香油ミサ 司祭経年祝 (カテドラル)	
2 木	聖木曜日(主の晩さん)	
3 金	聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金	
4 土	聖土曜日	
5 日	復活の主日	
9 木	〔常任司教委員会〕	
12 日	神のいくしみの主日	
22 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会	
26 日	世界召命祈願の日	

5月		
10 日	世界広報の日(献金)	
14 木	〔常任司教委員会〕	
17 日	主の昇天	
20 水	10時半 甲山墓参	
24 日	聖靈降臨の主日	
25 月	教会の母聖マリア	
27 水	10時半 顧問会・責任役員会 (決算)	
31 日	三位一体の主日	

6月		
4 木	〔常任司教委員会〕	
7 日	キリストの聖体	
8 月	教区司牧者研修会(～9日迄)	
12 金	イエスのみ心	
15 月	〔定例司教総会〕(～19日迄)	
24 水	洗礼者聖ヨハネの誕生	
27 土	11時 教区宣教司牧評議会	
28 日	聖ペトロ使徒座への献金	
29 月	聖ペトロ 聖パウロ使徒 パウロ酒井俊弘補佐司教靈名	

7月		
1 水	福者ペトロ岐部司祭と187殉教者 平和月間(～8/31日迄)	
2 木	〔常任司教委員会〕	
8 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会	
22 水	10時半 司牧者集会	

8月		
2 日	カンボジア教会の日の献金	
6 木	主の変容 平和旬間(～15日迄)	
10 月	青年と子どもの鍊成会 (予定～12日迄)	
12 水	教区教員養成会(～13日迄)	
15 土	聖母マリアの被昇天 共同司教座聖堂献堂(桜町) (教区本部事務局 休業)	

9月		
1 火	すべてのいのちを守るための月間 すべてのいのちを守るための基金 (献金) (～10/4迄)	
3 木	〔常任司教委員会〕	
6 日	被造物を大切にする世界祈願日	
9 水	10時半 顧問会・責任役員会	
14 月	十字架称賛	
16 水	教区健康の日	
20 日	祖父母と高齢者のための世界祈願日	
23 水	14時 病者・障がい者とともに歩むミサ(カテドラル)	
27 日	世界難民移住移動者の日(献金)	
30 水	〔臨時司教総会〕(～10/1迄)	

10月		
1 木	常任司教総会 〔常任司教委員会〕	
7 水	ロザリオの聖母 大阪高松教区 守護聖人 10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会	
18 日	世界宣教の日(献金) INTERNATIONAL DAY	
25 日	教区典礼研修会	
28 水	10時半 司牧者集会	

11月		
1 日	諸聖人	
2 月	死者の日	
3 火	11時 教区納骨者および死者 祈念ミサ(カテドラル)	
5 木	〔常任司教委員会〕	
7 土	管区司教と青年の集い(～8日迄)	
9 月	ラテラノ教会の献堂	
10 火	聖レオ1世教皇教会博士 レオ池長潤名譽大司教靈名	
11 水	10時半 顧問会・責任役員会	
15 日	貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(～22日迄)	
16 月	日韓司教交流会(～19日迄)	
22 日	王であるキリスト 世界青年の日	
25 水	11時 桜町墓参	

12月		
3 木	〔常任司教委員会〕	
6 日	宣教地召命促進の日(献金)	
8 火	無原罪の聖マリア	
9 水	10時半 顧問会・責任役員会	
25 金	主の降誕 (教区本部事務局 休業)	
27 日	聖家族 使徒ヨハネ諷訪榮治郎名譽司教靈名	
28 月	11時 みことばの祭儀 (教区本部事務局年末始休業 2026.12/28～2027.1/5)	

2027年 1月		
1 金	神の母聖マリア 世界平和の日	
3 日	主の公現	
6 水	(教区本部事務局2027年始業)	
10 日	主の洗礼	
13 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会	
14 木	〔常任司教委員会〕	
17 日	教区新生の日(1・17)	
18 月	キリスト教一致祈祷週間 (～25日迄)	
23 土	11時 教区宣教司牧評議会	
24 日	神のことばの主日	
25 月	修養会(～30日迄)	
28 木	聖トマス・アクイナス司祭教会博士 トマス・アクイナス 前田万葉大司教靈名	
31 日	世界こども助け合いの日(献金)	

2月		
2 火	主の奉獻	